

常楽寺美術館企画展

傅益瑤と

その家族展

令和4年

7.23 (土) ~

12.25 (日)

開館時間

午前9時~午後4時

入館料

大人:500円 高校生:300円
小中学生:100円

主催・会場

常楽寺美術館

長野県上田市別所温泉2347
0268-37-1234

後援 上田市、上田市教育委員会、上田市日本遺産推進協議会、信州上田観光協会、別所温泉観光協会、上田日中友好協会、上田電鉄株式会社、しなの鉄道株式会社、信濃毎日新聞社、信州民報新聞社、東信ジャーナル社、週刊上田、SBC信越放送、NBS長野放送、TBSテレビ信州、abn長野朝日放送、上田ケーブルビジョン

協力 長野県立美術館(企画展『傅抱石・傅益瑤 父娘展』と協力)

講演会 傅益瑤ギャラリートーク

日時:8月21日(日) 午前10時30分~12時

講師:傅益瑤

会場:常楽寺 定員:30名(申込の先着順となります)

申込:7/1以降発信厳守で、参加希望者の住所・氏名・電話番号を記してメール(kitamuki33@gmail.com)もしくはハガキで送信してください。(電話・口頭は不可)



HP



Twitter



Instagram

概 要

中国の水墨画家・傅益瑤の日本における活躍は、上田市別所温泉常楽寺の半田孝淳（故人・上田市名誉市民・第256世天台座主）との出会いからはじまりました。

1987年、常楽寺に滞在しながら描いた本堂襖絵「別所古刹風光を緒として、孝淳の導きにより京都三千院、三十三間堂、延暦寺国宝殿、福井永平寺で障壁画等を制作し、地位を確立しました。

益瑤の父・傅抱石は、現代中国画壇の第一人者と称され、その子どもたち家族は、芸術家として活躍しています。孝淳の尊父である常楽寺55世半田孝海は、1958年、中国人俘虜殉難者の遺骨送還のために訪中し、これを契機に長野県日中友好協会が設立され、初代会長を務めました。孝淳もまた、日中国交回復前の1964年に訪中し、その際に抱石と出会っています。そうした深い縁から、常楽寺美術館には一家の作品が20点余り奉納されています。

本展では、当館所蔵の作品を中心に、「半田孝淳との出会いと交友」「傅益瑤とその家族」をテーマに作品紹介します。

なお、本展は、令和4年7月23日（土）～9月11日（日）に長野県立美術館で開催される「傅抱石・傅益瑤 父娘展」に協力し、相互連携して開催します。

展示作品

「常楽寺船松」（傅益瑤 1989）、「北向観音」（傅益瑤 1989）、「安楽寺八角塔」（傅益瑤 1989）、「紅葉」（傅益瑤 1989）、「法華大会」（傅益瑤 作年未詳）、「幽林白雨」（傅益瑤 1991）、「上元燈節夜遊」（傅益瑤 1994）、「芙蓉苦裏尽朝暉」（傅抱石 1960 頃）、「長白瀑布図」（傅抱石 1964）、「井崗山之頌」（傅抱石 1964 頃）、「達磨像」（傅小石 作年不詳）、「臨流撫琴図」（傅二石 1987）、「秋の木曾駒」（傅益玉 1980 以降）、「別所古刹風光」（傅益瑤 1989・常楽寺襖絵）ほか

※「法華大会」、「井崗山之頌」、「別所古刹風光」の3点は、県立美術館企画展「傅抱石・傅益瑤 父娘展」に展示した後、9月14日から展示します。また、これにあわせて展示替えがあります。詳細は、常楽寺美術館 HP (<https://www.kitamuki-kannon.com/muse/>) で御確認ください。

割引情報

- ◆障害者手帳携帯者とその介助者1名は3割引とします。
- ◆常楽寺美術館「傅益瑤とその家族展」入場券の半券を、長野県立美術館企画展「傅抱石・傅益瑤 父娘展」に持参の場合、入場料を団体割引の適応とします。
- ◆長野県立美術館企画展「傅抱石・傅益瑤 父娘展」入場券の半券を持参の場合は、常楽寺美術館の「傅益瑤とその家族展」入場料を2割引とします。